

## 【事業実績】

令和4年度の本事業で「山形アーカイブ (<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>)」を構築・公開した。令和5年度は、アーカイブの拡充とアーカイブの活用方法等について楽しみながら学べるイベントを実施し、アーカイブの意義、ひいてはまちの記憶を残す意義を市民への普及に務めた。

本年度の特筆すべき点は、本事業をきっかけとして誕生した山形大学学生サークル「まちの記憶を残し隊」の活躍である。若年層である大学生が自主的に収集したまちの記憶を、さまざまな世代の山形市民が見て学ぶことによって世代間の交流が生まれた。本事業が取り組んだ課題の1つである「地域課題解決に向けた多世代の学びの創出にかかる取組」を実践し徐々に効果が上がりつつあるといえるだろう。

◆ななはく！2023ルーナ 令和5年9月16日（土）～18日（月・祝） 参加者201人

### ○七日町石版プロジェクトー石の記憶ー



東北芸術工科大学美術科版画コースが所有する、昭和初期の石版をもちいた印刷体験。

- ・子供の頃、親と行ったお店の包み紙の印刷がとても懐かしかった。こんな風に印刷が発展したのかという点でも興味深い。(50代女性)
- ・石版印刷を実際に体験できてよかった。(10代女性)

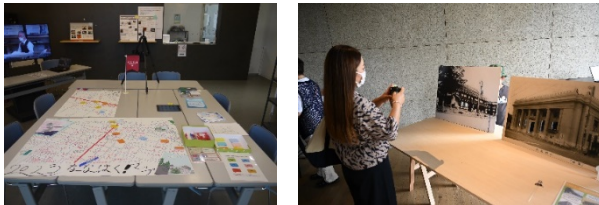
### ○まちの記憶を残し隊作成「山形五堰パンフレット」



2024年に完成から400年を迎える山形五堰に着目。清掃活動、紹介パンフレットの無料配布。また別事業で作成した五堰のゆるキャラを活用。

- ・山形市にも梅花藻があったのを初めて知りました。(40代女性)
- ・旧と新が融合している街を次代につないでいく若い人たちの意識が素晴らしい。(70代男性)

### ○まちの記憶を残し隊企画



手作りマップによる思い出の収集、アーカイブの画像を使って来館者との対話を行った。

- ・詳細な情報や貴重な資料をよく集めていることに感心した。(40代男性)
- ・昔の町の歴史をきちんと残していくことが素晴らしいと思いました。(70代女性)

### ○再現！全国産業博覧会



会場のQ1は昭和2年に開催された全国産業博覧会の会場。山形芸妓とサーカス実演で当時の賑わいを再現。

- ・今立っているこの地の歴史が視覚的にわかるのは面白かった。愛着も増したような気がする。(30代男性)
- ・やまがた舞子の踊りが素敵でした。(10代男性)

### ○まちの記憶を聞く会



かつて七日町で工場を構えていた寿虎屋酒造の大沼社長に会社の歴史と当時の七日町についてお話いただいた。

- ・貴重な映像を見せて頂きました。山形の歴史を深く知る良い機会となりました。(70代男性)
- ・山形市内にいながら知らないことが多く、とてもおもしろかったです。(60代女性)

## ◆まちの記憶を聞く会 特別企画 郷土史家後藤嘉一の孫・後藤ひろひと氏講演



郷土史家後藤嘉一の孫であり自身もまちの記憶を収集している劇作家後藤ひろひと氏に自身の思い出や山形に対する思いを語っていただいた。

- ・今日の「あるのに見なくなってしまう場所を撮る」というお話がとても心に響きました。(20代男性)
- ・ユニークな話や後藤嘉一さんとのエピソードが聞けてよかったです。(10代男性)

## ◆ななはく！2024 ソーレ 令和6年2月16日（金）～18日（日）参加者570人

### ○「まちの記憶残し隊」特別企画



活動報告をプレゼン形式と対話形式で行った。

- ・非常にレベルの高い発表で驚きました。(40代男性)
- ・皆さん独自の視点で地域を深掘りされていて他地域の調査を行う際にも非常に参考になりました。(50代男性)
- ・山大生（若者）による大変すばらしい企画です。山形の記憶を残して頂き、ありがとうございます。山形県民として感謝しております。(40代女性)

### ○ななはく！寄席



現役大学院生・落語家の宝笑亭熊水氏自作の講談「時を流れる山形五堰」他。

- ・手水まわし、水屋の宿たのしかかったです。講談は歴史がわかっておもしろかったです。(70代男性)
- ・落語もとても楽しかったです。講談が真に迫っていてすごかったです。(50代女性)
- ・水にちなんだ3席とても良かったです！(50代男性)

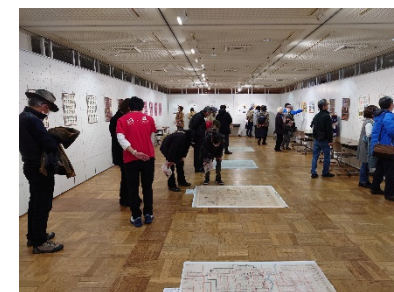
### ○まちの記憶を聞く会



山形五堰の管理に携わってきた佐藤章夫氏による講演。

- ・佐藤章夫さんのお話はとても詳しく、五堰について知り、知識を深めることができました。(50代女性)
- ・水路の維持の方法なども聞いて面白かった。改良が進むのは良いが生態系の変化があるというのは興味深かった。(40代男性)
- ・五堰を知ったつもりでいましたが、「排水・地下浸透」の大切さも気づくことができました。(20代女性)

### ○展示「七日町の過去・現在・未来」



江戸時代から昭和2年までの山形市の地図（拡大印刷）と、教員と山大生が収集したまちの風景やインタビュー結果を展示。

- ・絶えず変化していくまちの歴史を残していこうという取組はとても大事だと思います。(50代男性)
- ・もっと早く「ななはく！」を知りたかった。(70代男性)
- ・ふだんは気づかなかったり、知らなかったりする身近なことを知ることができて楽しいです。(60代女性)
- ・次回も楽しみにしております。(50代男性)

## 今後について

小学生が親とともに「ななはく！」に会場し地図を見ながら会話をしていた。しかし、子供の来場は決して多くはない。小学校の授業に活用できるようなコンテンツをつくり、来年こそは小学校の授業として行いたい。また、来場者と写真や地図を見ながらお話しすると楽しんでいる様子が見受けられる。実際に「楽しい」、「続けてほしい」という言葉も数多くいただいた。確実に持続可能なアーカイブとするために、サーバの維持費などをねん出する方策を考えていきたい。